

シアトル別院時報

34巻 12月号

2015年度教化標語
まことの人生を歩もう



『御煤払』

関谷沙羅師



いよいよ12月、今年も残すところ一ヶ月を切りました。例年の如く「あっという間に過ぎた一年だった！」と感じていらっしゃる方が多いのではないのでしょうか。

これをご覧になる頃には、アメリカでは最大のホリデーシーズンに突入ということで、街が華やかになってきた頃でしょうか。それと共に私達日本の行事を知る者にとっては、年末の大掃除が近づいてまいります。

大掃除は、主に12月28日頃に行われる歳末の恒例行事で、徹底的に行われる掃除です。平安時代頃に始まったと言われ、元は『煤払い』[すすはらい]と呼ばれていました。宮中などでも行われ、一年の煤を払ってお正月を迎える準備をする12月に欠かせない行事です。

本願寺においては毎年12月20日に『御煤払』[おすすはらい]が行われます。記録には1617年の御煤払の夜に本願寺で火事があったとあり、何百年も前から脈々と続いていることがわかります。

現在の御煤払ですが、前日の19日には御堂の御影やお荘厳を撤去し、翌20日のお晨朝のお勤めは最低限のお荘厳にていつもより早い5時半に始まります。暗く寒い12月の晨朝ですが、多くの門信徒の方々が集まって来られます。お勤めが終わりますと、初めに御門主様がお内陣の宮殿を長さ4メートルのお煤ほうきで左右に払われ、同時に、何列にも並んだ僧侶や門信徒が一斉に両手に持った煤竹で畳を叩き、前進を始めます。埃を被らないように頭や顔にタオルを巻いた人々が、一列に並んで前に後ろに進んでいく姿は圧巻です。巻き上がった埃は大きなうちわや送風機を使って外に出していきます。

多くの方々のご尽力で、一年に溜まった埃も少なくなった御堂は清々しく、ここから年末・年始を通して一層準備を整えて、いよいよ1月9日から始まる、私達にとって最も大切な親鸞聖人の祥月命日の行事である御正忌報恩講法要をお迎えします。

御煤払は12月の行事ですが、私達にとってはこのように親

12月の予定

- 7日 10時 成道会
- 10時45分 日本語法要
- 11時45分 ポットラック
- 9日 関谷先生シカゴへ
- 13日 10時 家族法要
- 日本語法要なし
- 11時 別院総会
- 16日 カストロ輪番日本へ
- 20日 10時 家族法要
- 日本語プログラムは未定
- 25日 事務所休み
- 27日 10時 家族法要 (DSなし)
- 10時45分 日本語法要
- 31日 7時 除夜法要
- ***
- 3日 1時半 日系マナー法要
- 17日 1時半 日系マナー法要
- 22日 10時半 敬老ホーム法要
- ***
- 1月
- 1日 元旦法要
- 10日 別院新年会

鸞聖人のご祥月命日である1月16日に向けた最初の一步であるといえましょう。改めて気を引き締めて聞法に励むための有難いご縁です。皆様も共々に、ぜひお家で始めてみてはいかがでしょうか。

南無阿弥陀仏



会長の挨拶

別院理事会 会長 森久保ゆきお

別院の全盛期は過去のものでしょうか？

日曜日に以前別院のミニスターとか来客の為に使っていた隣の家を見て回りました、もうここ数年使えなくなっていました。最近ではそこは殆どが倉庫となっていました。お寺の施設管理部のお陰で、特に少数の献身な方々が夜と週末を犠牲にして再生して下さいました、そして今ゲスト・ミニスターやその他のお念仏を共にする方々が元のように住める状態に近づいています。もう少しの最終調整で以前のように

にそのスペースが最善の状態で見えるようになり、私はとても感謝しています。

これはただ私がこのご奉仕に感謝するのではなく、私が別院の全盛期はこれからだということを感じる理由にもなります。お寺のプログラムや使命を前進するのは明らかに大変なことで献身さを必要とします。でもこの小さい方の家はいい例です、私たちのサンガはやる気十分です、私たちは出来ます。それが私に将来への希望を与えてくれます。

別院はともすれば教会やお寺の悲惨な話の、時代遅れの所であると思われ、現在の忙しく豊かな生活から取り残され消えてゆくものに考えられます。でもその無気力な評価に抵抗しなければなりません。

私達のお寺は他の教会と違って、今日の教養あるスマートな人々の生活を豊かにする哲学があるとしたら、それは仏教の教えで、とくに浄土真宗です。別院では私達のような普通の人たちに深い常識的な知恵である仏教の教えを頂けます。毎日の生活で学べる千年の知恵がそこにはあります、知恵が最新の科学と技術と共存しています。いかに表面的に快適でも、人の摂理としてはお釈迦さまや親鸞聖人の時代とおなじです。時としていかに対処するかを学び、反映し成長する必要があります。仏教はそれすべてを私たちに与えて下さいます。

会長のポストを次の方に（うれしく）明け渡す時となりました、別院の将来の発展のために引き続きご支援をお願いします。子供たちや孫の為に、がんばる事が大切です、ギブアップしないで、先人の苦勞に感謝し、別院のゴールである別院や仏教の教えで私達のような普通の人たちの生活をより幸せにより平和に生きられるよう努力しましょう。 合掌

おねがいしますとありがとうございました。

お餅セール

お餅のチケットが11月中旬より売り出されます。事務所でもお求めになれます。

ピックアップは12月19日1時—5時、20日9時半—1時にできます。その後は事務所におたずねください。お重ねは玄関のオーダーブックに名前を予約して下さい。チケットのないかたは先着順になり数に限りがあります、なるべくチケットをお求めください。また当日「ちちもち」も売り出される予定です。なおピックアップには**自分のバッグ**をお持ちください。

1ダース 4ドル お重ね 各5ドル 餅セールはダーマ・スクール、Jr. YBA、祭り太鼓などの青少年グループのサポートになります。

お正月パーティー

来年のお正月パーティーは1月10日1—3時です。お弁当のチケットが日曜日に売り出されています。平日は事務所までお尋ねください。チケットは15ドルで別院メンバーで80歳以上の方はサインアップされれば無料です。子供のランチは7ドルで5歳以下は無料です。チケットが必要です。

*多くの写真や記事が英語面にあります。日本語面は紙面の数に限りがあります英語面をご覧ください。

婦人会便り

2016年—2017年 婦人会役員選挙が行われ下記の方々が出選されました。

共同会長	富田—加藤ナイナ	和田真知子
副会長	大川ジェニー	鹿島加奈子
書記	西—ウオング・リアン	寺田鈴子
通信書記	永井サナエ	
会計	森久保キャレン	浅場ローレン
会計監査	頭本—コー・ティナー	藤成スザン



婦人会では新会員を募集しております。仏教婦人会の趣旨は別院への援助、必要な方々への支援、地域への支援活動、そして交流と勉強の場をすることです。ぜひ参加されますようお願いいたします。

第69回西北部仏教徒大会

2016年2月12—14日 オンタリオ・オレゴン仏教会主催

“Seeking the True and Real”

このたびの大会では梅津総長をはじめマーク・ブルーム博士、NWのミニスターが参加しワークショップやアート・プロジェクトが計画されています皆さんぜひ参加しましょう。

参加費

大人	110ドル	バンクエットだけ	45ドル
ユース・生徒	80ドル	日曜弁当	12ドル
子供	60ドル		

締め切り 1月15日（締め切り後の申し込みはスペースがあれば受付け15ドル増し）

キャンセルは1月31日までは全額、その後は半額返金

申し込みはお寺ごとですから所属の団体または別院事務所までおたずね下さい。

ピンポンゲームのトーナメント申し込みもあり。

ホテルの予約は各自にて。ホテルの詳細を各団体の責任者が別院事務所までお尋ねください。

